



2022年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年4月13日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
 コード番号 6668 URL <https://www.adtec-rf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 秀法

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 坂谷 和宏

TEL 084-945-1359

四半期報告書提出予定日 2022年4月13日

配当支払開始予定日

2022年4月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第2四半期の連結業績(2021年9月1日～2022年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	5,809	60.4	1,236	178.4	1,298	169.9	945	165.8
2021年8月期第2四半期	3,623	5.4	444	1.5	481	4.6	355	3.5

(注) 包括利益 2022年8月期第2四半期 1,022百万円 (237.0%) 2021年8月期第2四半期 303百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	110.20	
2021年8月期第2四半期	41.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期第2四半期	15,866	7,790	49.0	905.91
2021年8月期	12,914	6,844	52.9	795.56

(参考) 自己資本 2022年8月期第2四半期 7,769百万円 2021年8月期 6,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		5.00		7.00	12.00
2022年8月期		6.00			
2022年8月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	46.2	2,300	108.6	2,400	106.8	1,700	94.2	198.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年4月13日)公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期2Q	8,586,000 株	2021年8月期	8,586,000 株
期末自己株式数	2022年8月期2Q	9,791 株	2021年8月期	2,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期2Q	8,578,486 株	2021年8月期2Q	8,583,910 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12
3. その他	12
(1) 受注実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株による感染の再拡大があったものの、経済・社会活動の正常化へ向けた動きにより、緩やかながら回復基調で推移しておりますが、ロシアによるウクライナ侵攻によって世界的に緊張感が高まり、先行き不透明な状況となりました。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、ファウンドリやロジックメーカーにおける先端投資が行われるとともに、中国の半導体内製化へ向けた投資が行われるなど、半導体関連の投資が堅調に推移いたしました。

当社等においては、堅調な受注環境の中、国内外における生産ラインの整備を進めたことにより、生産能力を拡大することはできましたが、世界的な半導体、樹脂材料等の不足による需給逼迫の影響により部材調達に遅延が生じ、生産計画の見直しを迫られました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、前第2四半期連結累計期間にあった大型案件はないものの、リピート品や小型案件を獲得するとともに、研究機関における定期点検等の保守サービスを確保したことにより、堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,809,830千円（前年同期比60.4%増加）、営業利益1,236,759千円（前年同期比178.4%増加）、経常利益1,298,424千円（前年同期比169.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益945,386千円（前年同期比165.8%増加）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高5,458,682千円（前年同期比88.3%増加）、営業利益1,208,625千円（前年同期比235.0%増加）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高351,147千円（前年同期比51.5%減少）、営業損失16,772千円（前年同期は営業利益69,687千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
売上高	3,623,071	5,809,830
売上総利益	1,419,955	2,508,532
営業利益	444,312	1,236,759
経常利益	481,065	1,298,424
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,737	945,386

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	2,898,889	360,812	5,458,682	1,208,625
研究機関・大学関連事業（IDX）	724,182	69,687	351,147	△16,772
合計	3,623,071	430,499	5,809,830	1,191,853

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失（△）を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、Hana Technology Co., Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啐啄電子有限公司を表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は15,866,035千円であり、前連結会計年度末と比較して2,951,824千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(629,630千円)受取手形、売掛金及び契約資産の増加(694,177千円)、仕掛品の増加(789,375千円)等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は8,075,713千円であり、前連結会計年度末と比較して2,005,916千円増加しております。

これは、買掛金の増加(238,881千円)、短期借入金の増加(250,000千円)、長期借入金の増加(1,163,788千円)等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は7,790,321千円であり、前連結会計年度末と比較して945,907千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(885,299千円)等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して624,830千円増加し、当第2四半期連結会計期間末は3,304,117千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は438,451千円(前年同期は617,543千円の獲得)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益1,298,424千円、減価償却費121,415千円、仕入債務の増加額224,782千円等の資金増加要因、売上債権の増加額679,516千円、棚卸資産の増加額1,182,216千円、法人税等の支払額210,546千円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は363,890千円(前年同期は140,911千円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出342,117千円、無形固定資産の取得による支出16,973千円等の資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,335,943千円(前年同期は88,533千円の使用)となりました。

これは、短期借入金の純増加額250,000千円、長期借入れによる収入1,350,000千円の資金増加要因、長期借入金の返済による支出159,782千円等の資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日(2022年4月13日)公表いたしました「第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,488	3,538,119
受取手形及び売掛金	1,957,687	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,651,864
製品	624,158	781,559
仕掛品	1,817,423	2,606,798
原材料及び貯蔵品	2,999,172	3,248,670
前払費用	60,041	89,688
未収入金	620,290	640,701
その他	16,522	33,126
流動資産合計	11,003,785	13,590,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,428,057	1,454,014
減価償却累計額	△752,299	△772,118
建物及び構築物(純額)	675,757	681,896
車両運搬具	43,505	46,200
減価償却累計額	△40,122	△41,809
車両運搬具(純額)	3,382	4,391
工具、器具及び備品	1,495,573	1,650,909
減価償却累計額	△969,115	△1,028,552
工具、器具及び備品(純額)	526,458	622,357
土地	236,519	236,519
使用権資産	164,753	172,054
減価償却累計額	△13,362	△16,165
使用権資産(純額)	151,390	155,889
建設仮勘定	—	208,840
有形固定資産合計	1,593,509	1,909,893
無形固定資産	181,259	180,357
投資その他の資産		
投資有価証券	1,400	1,400
繰延税金資産	65,734	102,879
その他	82,872	95,325
貸倒引当金	△14,350	△14,350
投資その他の資産合計	135,656	185,255
固定資産合計	1,910,425	2,275,505
資産合計	12,914,210	15,866,035

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,703	675,584
短期借入金	2,800,000	3,050,000
1年内返済予定の長期借入金	318,989	345,419
未払金	278,955	356,387
未払費用	108,054	182,070
未払法人税等	203,436	370,579
役員賞与引当金	—	29,500
その他	95,438	63,857
流動負債合計	4,241,577	5,073,398
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,196,326	2,360,114
繰延税金負債	4,958	13,637
退職給付に係る負債	29,753	30,204
資産除去債務	95,652	97,010
その他	1,528	1,349
固定負債合計	1,828,219	3,002,315
負債合計	6,069,797	8,075,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	911,211
利益剰余金	5,122,864	6,008,163
自己株式	△605	△19,817
株主資本合計	6,866,017	7,735,155
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△37,042	34,084
その他の包括利益累計額合計	△37,042	34,084
非支配株主持分	15,438	21,081
純資産合計	6,844,413	7,790,321
負債純資産合計	12,914,210	15,866,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
売上高	3,623,071	5,809,830
売上原価	2,203,115	3,301,298
売上総利益	1,419,955	2,508,532
販売費及び一般管理費	975,643	1,271,772
営業利益	444,312	1,236,759
営業外収益		
受取利息	316	477
為替差益	61,112	77,540
助成金収入	8,307	438
受取家賃	810	810
その他	4,417	3,001
営業外収益合計	74,964	82,267
営業外費用		
支払利息	15,139	17,382
社債発行費	16,539	—
その他	6,532	3,220
営業外費用合計	38,211	20,602
経常利益	481,065	1,298,424
特別損失		
投資有価証券評価損	1,340	—
特別損失合計	1,340	—
税金等調整前四半期純利益	479,725	1,298,424
法人税、住民税及び事業税	118,195	375,510
法人税等調整額	△5,250	△28,115
法人税等合計	112,944	347,395
四半期純利益	366,780	951,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,043	5,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,737	945,386

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	366,780	951,028
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△63,484	71,126
その他の包括利益合計	△63,484	71,126
四半期包括利益	303,296	1,022,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	292,253	1,016,512
非支配株主に係る四半期包括利益	11,043	5,642

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	479,725	1,298,424
減価償却費	88,610	121,415
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,500	29,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,748	1,273
株式報酬費用	—	7,014
受取利息及び受取配当金	△316	△477
支払利息	15,139	17,382
為替差損益(△は益)	△40,735	△119,785
社債発行費	16,539	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,340	—
売上債権の増減額(△は増加)	48,741	△679,516
棚卸資産の増減額(△は増加)	△92,359	△1,182,216
仕入債務の増減額(△は減少)	77,418	224,782
その他	256,047	70,081
小計	864,399	△212,121
利息及び配当金の受取額	303	465
利息の支払額	△12,009	△16,248
法人税等の支払額	△235,149	△210,546
営業活動によるキャッシュ・フロー	617,543	△438,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△24,800	△4,800
有形固定資産の取得による支出	△88,497	△342,117
無形固定資産の取得による支出	△27,613	△16,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,911	△363,890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600,000	250,000
長期借入れによる収入	200,000	1,350,000
長期借入金の返済による支出	△120,594	△159,782
社債の発行による収入	483,460	—
自己株式の取得による支出	△50	△44,220
配当金の支払額	△51,349	△60,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,533	1,335,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,764	91,228
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	417,862	624,830
現金及び現金同等物の期首残高	2,830,535	2,679,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,248,398	3,304,117

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品等の国内販売において、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84号ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	2,898,889	724,182	3,623,071	—	3,623,071
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8,489	4,183	12,672	△12,672	—
計	2,907,378	728,365	3,635,743	△12,672	3,623,071
セグメント利益	360,812	69,687	430,499	13,812	444,312

(注) 1. セグメント利益の調整額13,812千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
日本	2,500,655	351,147	2,851,803	—	2,851,803
アジア地域	1,981,667	—	1,981,667	—	1,981,667
米国	818,077	—	818,077	—	818,077
欧州	156,812	—	156,812	—	156,812
その他	1,469	—	1,469	—	1,469
顧客との契約から生じ る収益	5,458,682	351,147	5,809,830	—	5,809,830
外部顧客への売上高	5,458,682	351,147	5,809,830	—	5,809,830
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2,072	1,666	3,738	△3,738	—
計	5,460,755	352,813	5,813,569	△3,738	5,809,830
セグメント利益又は損失 (△)	1,208,625	△16,772	1,191,853	44,905	1,236,759

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額44,905千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

この結果、報告セグメントの売上高及び利益又は損失に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2022年4月6日開催の取締役会において、以下のとおり、当社の子会社であるPhuc Son Technology Co.,Ltd. (以下、「PST」という。)における新工場の建設を行うことについて決議いたしました。

(1) 工場建設の理由

半導体市場において、データセンター、自動運転システム、IoT機器の普及等により半導体需要が今後も伸びていく見通しであり、半導体メーカーの設備投資も引き続き拡大傾向が続くものと予想されております。

当社等は、成長戦略に重要な更なる生産能力拡大の時期を検討しておりましたが、今後の半導体市場の成長予測、直近の半導体メーカーの設備投資動向及び当社グループの現在の生産能力の状況を鑑み、当社グループの主たる主要拠点であるPSTに第2工場を建設することといたしました。

(2) 設備投資の内容

- ① 名称 : Phuc Son Technology Co.,Ltd. 第2工場
- ② 所在地 : Lot J.2, Que Vo IP (Expanded area), Nam Son Ward, Bac Ninh City, Bac Ninh Province, Vietnam
- ③ 建設予定面積 : 第2工場棟(3階建) 15,950㎡ 駐車場棟 6,675㎡
- ④ 投資予定金額 : 約20,000,000米ドル(建物・設備)

(3) 日程

- ① 建物着工予定 : 2022年9月頃
- ② 建物完了予定 : 2023年7月頃

(4) 当該設備が営業活動に及ぼす重要な影響

2022年8月期における業績への重要な影響はありませんが、中長期的には業績向上に資するものと判断しております。

(5) 子会社の概要

- ① 名称 : Phuc Son Technology Co.,Ltd.
- ② 事業内容 : 高周波電源、マッチングユニット及びケーブルの製造及び販売
- ③ 資本金 : 2,500,000米ドル(2022年2月28日現在)

3. その他

(1) 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)			
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
半導体・液晶関連事業	7,661	116.4	6,018	176.3
研究機関・大学関連事業	494	86.7	837	119.8
合計	8,156	114.4	6,856	167.9

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。